

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第13回大潟区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・報告事項（公開）

(1) 上越市が所有する日帰り・宿泊温浴施設のサウンディング型市場調査の結果について

(2) (仮) 人魚館サポーターズクラブについて

・協議事項（公開）

(1) 地域活性化の方向性について

・その他（公開）

3 開催日時

令和5年3月23日（木）午後6時30分から午後7時45分まで

4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 2階 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐郁代、五十嵐公子、金澤信夫、君波豊、佐藤忠治（会長）、新保輝松、関清、土屋郁夫、中野幹根、濁川清夏、俵木一松、俵木晴之（副会長）、細井雅明（13名中13名出席）

・行政改革推進課：島田副課長、敷波係長

・事務局：大潟区総合事務所 熊木所長、柳澤次長（総務・地域振興グループ長兼務）、布施教育・文化グループ長、平野市民生活・福祉グループ長、風間班長、水澤主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【柳澤次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【佐藤忠治会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：俵木一松委員に依頼

【佐藤忠治会長】

報告事項（1）上越市が所有する日帰り・宿泊温浴施設のサウンディング型市場調査の結果についての報告を行う。行政改革推進課から説明を願う。

【島田副課長】

資料No.1により説明。

【佐藤忠治会長】

質問等あるか。

【関清委員】

サウンディングとは何か。

【島田副課長】

横文字の聞きなれない言葉になるが、簡単に言うと民間事業者と市とが対話を通じていろいろな提案を受けながら、施設をどうしていったらいいかを聞き取るような制度になる。

【佐藤忠治会長】

参加した民間事業者の名称は公表しないのか。

【島田副課長】

名称は差し控えさせていただきたい。

【佐藤忠治会長】

参加したのは市内事業者か。市外、県外事業者か。

【島田副課長】

県外事業者何社、市外事業者何社とまでは申し上げないのでご理解いただきたい。市

内事業者、市外事業者、県外事業者それぞれからご提案いただいている。

【君波豊委員】

資料No.1の3の(1)サウンディング型市場調査の結果で、吉川ゆったりの郷は現地見学会4件、市場調査4件であり注目度が高いと思った。その辺りをどう捉えているか。鵜の浜人魚館も現地見学会3件、市場調査2件であり、ある程度は注目度が高い施設であると思うが、担当課としてはどう捉えているかお聞きしたい。また、(3)提案の概要の中で、鵜の浜人魚館の場合は②の現状の公設民営による運営を前提とした施設の利用促進等に係る提案が出ているのだろうと思うが、「現状サービスの見直し(一部機能の休止や機能の追加等)による運営の効率化」について話していただける内容があればお聞きしたい。「温浴機能以外の施設の機能転用」についても具体的な転用の方法などもお聞きしたい。

【島田副課長】

ゆったりの郷については収支状況が一番いい施設であり、新型コロナウイルスの影響がなければ令和2年度は指定管理料が0円でもなんとか運営できる施設であった。収支状況が良かったところが事業所の目に留まったのではないかと。また、道の駅と一体的に利活用されているところが魅力に繋がったのではないかとと思われる。鵜の浜人魚館については近くに温泉街があり一体的に温泉の機能があることや、海が近く夏季の海水浴客を視野に入れた提案があったのではないかと考えている。次に内容についてだが、資料に記載されている以上のことを公表してもいいかを提案事業者と協議させていただき報告させていただき形を取りたいと思う。ただ、一部機能の休止や機能の追加等という部分は、例えば宿泊、温浴、食堂がある施設であれば、その一部を休止することで収益が上がるのではないかとという提案である。施設によっては温浴以外にいろいろな機能がある。鵜の浜人魚館にはプールや食堂があるし、他の施設では多目的に運動ができるコートがあったりする。そういったところで利用度合いが低いものを使い勝手がいいように見直したらどうかという提案である。これ以上の詳しいことであれば、提案事業者と相談させていただきながら、できるだけ報告できるように努めていきたい。

【君波豊委員】

大潟区地域協議会では、自主的審議事項として鵜の浜人魚館の利活用促進について協議してきた。提案事業者から指摘された点で改善の余地があるものについては、我々も

取り組む必要があるかと思ひ質問した。今後、分かった点などがあれば教えていただきたい。

【佐藤忠治会長】

他に質問等がなければ、報告事項（１）上越市が所有する日帰り・宿泊温浴施設のサウンディング型市場調査の結果についてを終了する。

～行政改革推進課退席～

次に報告事項（２）（仮）人魚館サポーターズクラブについての報告を行う。準備会の五十嵐郁代委員から説明を願う。

【五十嵐郁代委員】

地域協議会委員の中の有志で準備をしてきた。準備会の経過について報告したい。3月3日に人魚館と打ち合わせを行い、人魚館の新しい体制について説明を受けた。Jーホールディングスグループの組織再編に伴い新しい会社組織となる。今後、会議や準備を重ねて新しい体制になるため、この日時点では新聞報道されている概要のみの報告であった。サポーターズクラブについては、新しく再編される組織の中でも市民の力を利用して経営努力をすることを目標の一つとしており、内容としてもいい試みであるので検討していきたいとのことであった。新しいイベントや運営方法については、組織改編以降でないと決めることができないということであった。我々は、勝手連的にできるところをやるということでの了解をいただいた。同じ日にサポーターズクラブの準備会を開催し今後の進め方や募集方法を協議した。有志メンバーを核とした役割分担を決め、早急にサポーターを募集するためにチラシを作成し全戸配布した。その後に人魚館と具体的な話はしていないが、人魚館側に具体的な動きがあり次第、連絡を取りながら状況を見て進めていきたいと思っている。人魚館の体制がはっきりとして、新会社の総会等の終了後の5月くらいを目途にサポーターズクラブの設立のための会を開けるよう準備を進めているところである。詳細については皆さんにも報告したいと思っている。

【佐藤忠治会長】

五十嵐郁代委員から人魚館との連絡係を担ってもらっている。3月3日に人魚館と打ち合わせ後に正式に設立準備会を組織した。人魚館と協議しながら進めていきたい。会員募集のチラシは、広報じょうえつなどと一緒に配付していただくよう大潟区町内会長協議会長に依頼をした。Jーホールディングスグループの組織再編による新会社の社長

がどのような感触を持っているのかわからない。総会終了後に新会社の社長とも話をしたいと人魚館には伝えてある。質問、意見はあるか。

【君波豊委員】

募集チラシは明日あたりから全戸配布されると思う。気の早い人は連絡するかもしれない。その辺の調整ができていればいい。前回の地域協議会で「経営改善計画概要」という資料が配付されたが、その中で「一般の方の協力を糧にしていきたい。」といったことに触れている。サポーター的な組織については歓迎だと思うので1日でも早く設立するよう取り組んでいただきたい。また、3月14日付で「Jーホールディングスグループの組織再編に関するお知らせ」という文書が配られた。新会社は「ネクストリゾート上越株式会社」という名称になる。名実ともに人魚館の指定管理者である大潟地域活性化センターは無くなる。そうなるとうちは大会社を相手に折衝するという形になるが、組織図では各施設に支配人がいるようなので連携は取れるのではないかと思う。新会社の社長のことをまったく知らない。どこかで略歴などを紹介いただければありがたい。Jーホールディングスの初代社長は、わざわざ地域協議会に来て経営の方向性などを説明し、「協力していこう。」となった経過もある。今後はこれまでよりももっと縮小され、本社は吉川区となるので、我々ももっと緊密に連絡しあっていけばいい結果が生まれてくるのではないかと思う。

【佐藤忠治会長】

昨日の市議会の一般質問でもいろいろ質問された議員もいた。

【君波豊委員】

私の記憶では、あまりJーホールディングスについて取り扱った人はいなかった。

【熊木所長】

新会社であるネクストリゾート上越株式会社の代表取締役は4月1日に決定する予定であり、現段階では決まっていない。

【佐藤忠治会長】

他に質問等がなければ、協議事項（1）地域活性化の方向性について協議を行う。今後のスケジュール案について、事務局から説明を願う。

【風間班長】

資料No.2により説明。

【佐藤忠治会長】

質問、意見はあるか。

【細井雅明委員】

町内会については、各町内会長個人宛に送るのか。

【佐藤忠治会長】

そうである。大潟連絡会議で話を出そうかとも考えたが、それだと役員だけの意見になってしまう。それよりも各町内会長から意見をもらう方がいいと考えた。また、役員改選の時期でもあるので各町内会長宛とした。

【細井雅明委員】

町内会長が変更となる微妙なタイミングだと思った。

【佐藤忠治会長】

他に意見、質問がなければこのスケジュール案でよいか。

(一同了承)

皆さんから同意をいただいたので、このスケジュールで進めていきたい。

その他に入る。連絡事項等あるか。

【土屋郁夫委員】

今日でなくていいのだが、次年度4月からの一年間の開催予定を決めていただきたい。スケジュールの都合があるので早めに決めておきたいと思う。もう1点、来年の改選にあたってどういった動きになるのか、4月の地域協議会で市の考えを聞いておきたい。人魚館サポーターズクラブ準備会に有志として手を挙げたので1年間はしっかり頑張ろうと思うが、その先については未定である。改選の考えが出てきたところで検討したいと考えている。

【佐藤忠治会長】

基本的に地域協議会の開催は毎月第4木曜日である。祝祭日と重なった場合には、その前月くらいに協議をして決めている。

【土屋郁夫委員】

11月が祝日と重なるのと、3月の第4木曜日が28日となる。3月は特に問題がなければ28日でもいいのだが。

【佐藤忠治会長】

第4期の時も3月は1週間早い開催であった。

【土屋郁夫委員】

地域協議会だより最終号をいつ発行するか分からないが、3月は早めたほうがいい。

【佐藤忠治会長】

事務局と相談したい。もう1点、地域協議会員の改選についてとのことである。

【土屋郁夫委員】

4月以降でいい。情報が出てきたら早めに知らせていただきたいというお願いである。地域協議会の場で報告いただくのがいいのか、資料配布してもらった方がいいのか。まだ先の話だと思う。

【佐藤忠治会長】

了解した。

【細井雅明委員】

自主的審議事項として取り組んできた「大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について」は終了した。来年度は、地域活動支援事業の審査もない。このままいくと何もせずに最後の1年間を過ごすことになり、4年間やってきた充実感がない。最後の1年をどのように進めたらいいかを早めに審議したり、地域独自の予算を総合事務所に丸投げせずに大潟区として取り組むべきものがないかテーマを決めて話し合うべきではないかと考えた。次回までに皆さんから考えていただいたらどうか。

【佐藤忠治会長】

頸城区では、各活動団体に所属している委員が多くいる。住みよい頸城を作るためにどんな活動をしたらよいかと4つの分野に分けて各団体から集まってもらい、話し合い、各団体から地域独自の予算に提案してもらっている。大潟区、吉川区は、総合事務所が地域活動支援事業提案団体向けに説明会を開催して提案を募った。地域協議会はそこには関わっていない。地域を元気にするために必要な提案事業については、その制度が続いていると思っている委員となくなったと思っている委員がいる。私は続いていると思っていた。吉川区地域協議会の正副会長が自治・地域振興課と話し合いの機会を設けたところ、「地域独自の予算を提案するときに地域を元気にするために必要な提案事業を廃止した。」という説明であったそうだ。各地域協議会によって受け止め方がバラバラであ

った。自治・地域振興課長からは、「何らかの形でもう一度地域独自の予算について説明をしたい。」という意向が示された。以前、頸城区の希望館で市長との懇談会が開催されたが、その時の様な形で頸北4区の地域協議会委員に集まってもらうのがいいのか検討し、もう一度、地域独自の予算について説明してもらおう段取りになっている。地域独自の予算は地域協議会も提案ができる。地域協議会が事業を検討、提案して、どこかの団体に実施主体になってもらう方法と市に実施主体を依頼する方法がある。市が実施主体となる方法をについて理解できていなかった。地域独自の予算については、各総合事務所から各地域協議会に説明があっただけで、担当課が説明して質疑応答などのディスカッションをしたわけではなかった。地域協議会ごとに受け止め方に差があったということだ。大潟区でも地域独自の予算にどのように取り組んでいくかを4月以降の地域協議会で協議したいと思っている。

【君波豊委員】

頸北の正副会長の中でどのように話し合ってもらってもいいが、もともと市長は地域活動支援事業は令和4年度で終ると言い切った。そして令和6年度から地域独自の予算が始まる予定であった。ところが他区では地域活動支援事業で取組んだ事業を継続する団体もあるということで激変緩和措置で5年度から地域独自の予算が動くことになった。そのため我々はあまり力が入っていなかった。案件もあったし、地域協議会が提案してもよかったが、そういった気持にはなれなかったというのが正直な気持ちだったと思う。しかし、蓋を開けてみれば大方の事業が地域活動支援事業の継続として提案されている。議会で橋爪議員が地域協議会の権限、安田議員が地域自治推進プロジェクトについて質問されていた。地域自治推進プロジェクトがあり、地域のことは地域で決めて、地域で実施するとのことで、地域協議会で「地域活性化の方向性」を論議させて、これを中心に自主的審議事項を進め、場合によっては地域独自の予算に結び付けていくことが望まれるという話をされていた。市長も自信を持った回答をしていなかったようだ。改めて担当課から説明を受けることも一つの方法だが、我々ももう少し勉強をして、地域独自の予算に結び付けていくことも必要である。現在検討している「地域活性化の方向性」の中からひとつの項目を取り上げて、自主的審議事項のテーマとして協議し、地域独自の予算に結び付けてもいいのではないか。例えば、鵜の浜温泉、北國街道、潟町宿などのワードが出ている。ちょうど佐渡の世界遺産と繋がって北國街道が注目されると思う。

大潟区のどこを通過していたのかが分かっているところに碑を立てるなど、盛り上がり見せるために地域独自の予算を活用する方法もあると思う。

【土屋郁夫委員】

細井委員の発言のように、意見を出し合って次回の地域協議会で決めればいいのか。事前に一覧を配布してもらい4月の地域協議会で決めるのか、4月の地域協議会で一覧を配布して協議するのがいいのかを決めてもらえばいいと思う。4月の地域協議会で一覧を出してもらおうと決定するのは5月の地域協議会になる可能性もある。

【佐藤忠治会長】

土屋委員から提案があったがいかかがか。

【君波豊委員】

地域活性化の方向性の構成要素を作成するために各委員から多くの意見が出ていた。その中にも対象となるものがあると思う。各委員から改めて意見を出してもらいたいと思うが、地域活性化の方向性の構成要素を作成するために出した意見の中から抽出してもいいのではないかな。

【細井雅明委員】

目的が違うと思う。それは地域活性化の方向性を作成するために出した意見である。自主的審議事項で何を協議するのか、地域独自の予算に向けて取り組むのかということと目的が違うので新たに意見を出してもらいたいと思う。

【佐藤忠治会長】

地域活性化の方向性の構成要素を作成するために出した意見を参考にして、自主的審議事項にすべき課題を提出してもらいたい。

【土屋郁夫委員】

次回の地域協議会でパソコンを用意するので、スクリーン等の準備をお願いしたい。その場でスケジュールまで決めないともう1年ない。地域独自の予算に繋げるのであれば9月までに形にしないと駄目である。次回の地域協議会で決定したほうがいい。

【佐藤忠治会長】

それであれば、事前に意見を出してもらわないと駄目である。

【土屋郁夫委員】

何人から意見が出てくるか分らないが、事前に意見をもらった方がやりやすい。

【佐藤忠治会長】

自主的審議事項のテーマとしたい内容を、地域協議会の1週間前までに提出してもらうということでしょうか。

【細井雅明委員】

一覧表にまとめる作業もあるので1週間前まででは厳しいのではないかと。

【佐藤忠治会長】

次回の地域協議会の予定が4月27日になるので、4月14日までに提出ということにする。

(一同了承)

【君波豊委員】

地域自治推進プロジェクトというのがあるらしいが、市の所管課はどこになるのか。また、区内に大潟の子どもたちが作成した大潟キャンプ場、大潟野外活動施設のPRパンフレットが配置されている。これらの施設はスケジュール通りだと令和4年度5年度には貸付、譲渡の対象になっている。今年はかっぱ祭りも復活してあの場所で開催される。大潟キャンプ場、大潟野外活動施設のその後の状況はどうなっているのか。子どもたちがここまで取り組んでいると、これらの施設を残してやらなければいけないという気持ちになる。

【熊木所長】

地域自治推進プロジェクトは自治・地域振興課が担当している。4月からは組織改革により地域政策課となる。大潟野外活動施設については、指定管理を受けている大潟観光協会と協議中である。

【君波豊委員】

当面は、公の施設として残るとのことか。

【熊木所長】

廃止とならないように協議している。

【佐藤忠治会長】

他に連絡等がなければ次回の協議会の日程案について事務局から説明願う。

【柳澤次長】

令和5年度第1回地域協議会を4月27日木曜日午後6時30分から開催する。

【俵木晴之副会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL : 025-534-2111 (内線 201、216)

E-mail : ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。